



念じられ 照らされて

満洲朝日開拓団 (上)

下島 智恵子

私たち家族は日本の国策により、昭和十五年九月、ソ連、朝鮮、満洲という三国の国境に近い朝日開拓団に、両親と妹との四人で入植しました。私は六歳の時でした。

朝日開拓団は、朝日一之宿の幽溪寺住職鈴木亨氏を団長に、昭和十五年から「お国のため、村のため」と勧められ、昭和二十年までの五年間で入植者は約一四〇戸、六六〇名余になっていました。

開拓といっても、原住民から安く買い上げた土地だったので開拓などではなくてもよく、天候によっては不作の年もあれど、野菜や米、大豆などもよくとれました。供出もでき

るようになり、一年ごとに入植者も増えて活気に満ち溢れていました。しかし、昭和二十年八月九日、「ソ連が不可侵条約を破って侵入してくるから避難するように」と突然命令が出て、牛車で避難を始めました。途中の川では日本兵が橋を焼き落としてしまっていて通れず、豪雨で氾濫していた川を小さな渡し船で渡りました。そんな中、置き去りにした荷物を牛車

で運ぼうとする男性もあり、危険を顧みず渡河しようとしたが、あまりの濁流に進むことも許されず、命を落としてしまわれました。また手に余る子どもを見捨てなければならぬ親、絶望



<略歴>
昭和9年12月10日、旧朝日村秋神生まれ。昭和15年9月に満洲に渡り、昭和21年10月日本に帰国。

のあまり割腹して果てる老人、そのような混乱の中、なんとか琿春の駅までたどり着き、汽車に乗りました。

道中、照明弾で照らされて、爆弾が落ちてくると思い、「南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏」とお念仏を称えていたら、そのうち飛行機が行って真っ暗闇となりほっとしました。ほかに、空爆があるからと汽車を降ろされた後、豆畑に隠れていた

ら近くまで弾が飛んできて怖かったことを思い出します。このような苦勞をして、ようやく目的地の関東まで来ました。避難所は学校の二階で、遅くに来た人は床下に入りました。食べ物も少なく、コーリヤンのおかげが一日二回だけでした。

クが轟轟と音を立てて入ってきて、ソ連兵が万年筆や時計を出せと天井に向けて発砲するのです。おびえながらの夜を送っていました。九月になり、また琿春に戻ることになりました。琿春までの道程は二二〇キロ。今度は野宿をしながらだひたすら十二日間歩き続けました。飢えと寒さと強行軍で多くの幼児や仲間が倒れ、途中の密江峠では戦争の跡があり、兵隊さんがあちこちで亡くなり、軍馬も死んでいました。また、地雷の爆発で亡くなる人、怪我をする人、山の中でお産をする人、心身ともに疲れ果て、生きる気力さえ失うほどの大変な十二日間でした。

やっとの思いで琿春にたどり着き、開拓団まで帰れると思っていたら、帰ることもできずに琿春で過ごすことになりました。満洲は九月になると寒くなり、薪も食料もなく、飢えと病気で亡くなる人が増えていきました。また、ソ連兵の女狩りもあり、女性は頭を丸めて顔に炭を塗ってごまかしていました。

十一月に入ると、元気な者は炭鋏に行くことになり、私たち一家も炭鋏

に行きました。炭鋏は山の上であり、水汲みにも一苦勞。一斗缶を半分にして天秤棒で担ぎ、下の貯水池まで汲みに行き、長い山道を登って運びました。食料もなく、食べられるものは拾ってでも食べました。バタバタと亡くなる人が増え、下の谷には亡くなった人の山ができていました。また満洲の集落まで物乞いにも行きました。満洲の人は優しく、少しづつですが大豆、トウモロコシなどをくださいました。

そんな時に、父と母が二人一緒に寝込んでしまい、母は動けなくなり、大豆を軟らかく煮て食べさせ、下の世話は缶に石炭の灰を入れて済ませました。そのころの気温はマイナス三十度くらいの時もあり、石炭拾いに水汲み、看病と、五年生の私にはとてもつらいことばかりでした。そうして、父と母がようやく良くなり動けるようになって、次は私と妹が病気になるようになりました。「リンゴが食べたい。梅が食べたい」とやんちゃを言う私に「内地に行ったら食べさせてあげるから早く良くなつて」と母は看病してくれました。

次号に続きます。

8月1日~5日 午前6時30分 夏の夜天講座

- 1日 (金) 「心に残るお葬式」
藤場 俊基 氏 (金沢教区・常讀寺住職)
- 2日 (土) 「喪失から与えられたもの」
三井 裕子 氏 (がんサークル『Owls』代表)
- 3日 (日) 「鈴木大拙 『日本的靈性』と現代の宗教性」
藤枝 真 氏 (大谷大学文学部教授)
- 4日 (月) 「真宗八百年の歴史に学ぶ」
金龍 静 氏 (元本願寺資料研究所副所長・北海道教区 円満寺住職)
- 5日 (火) 「一戦後80年に当たり — 戦争孤児の願い」
三島 多間 別院輪番

飛騨御坊から挑戦状

リアル Splatoon 5 スプラトゥーン

ごぼうハンターをやっつけろ! 難解ミッションをクリアせよ!

7月22日(火)の巻 13:30 ~ 16:30

7月23日(水)の巻 13:30 ~ 16:30

募集: 各日 40名

対象: 小学1~6年生 ※中学生以上はスタッフ(ハンター)として参加できます

場所: 高山別院(鉄砲町6) 問い合わせ: 0577-32-0776

申込: QRコードを読み込んで必要事項を記入 → 締切 7/18 (先着順・定員になり次第終了)

※どちらか1日を選択できます(両日は不可)

内容: おつとめ、イベント、ゲーム、ほとけさまのおはなし

※雨天の場合は、本堂や庫裡の中であそびます

主催: 飛騨御坊真宗教化センター青少年部会

医療の現場で「生きる」と「学ぶ」

岸上 仁

つながりを確かめる(1)

「寄り添う」を妨げるもの

これまで「人間であるが故の苦悩」ということを確かめてきました。人間だけがひとり死んでいかねばならない不安の中で苦しむのです。病気や性格、状況のせいではなく、「人間だから」苦悩することがあると知ったときに、あなたも同じく苦悩する人間というところに立つことができるはずです。

しかし、私たちはなかなかそうなりません。そのことを教えられた出来事がありました。

あるとき、脳梗塞で入院中の患者さんの相談を受けました。「ずっと泣いている」というので

す。相談した看護師は知識があり、脳梗塞の症状で、感情が抑えにくくなる「感情失禁」ではないか、というのです。一方別の看護師は「あの人はさみしがりなだけなんです」と、性格の問題だとい

います。

病室に行くと、たしかにずっと泣いておられます。しかし何を言っておられるかわかりません。脳梗塞によってうまく話ができなくなると、「失語」という症状があると思われしました。しかしお話ししていると、こちらが話していることは理解されていることがわかってきました。つまり言語理解はできるけれど、うまく話せない。そういう症状のことを医学用語で「運動性失語」(非流暢性失語)とい

ます。そんなふうには泣いていない理由を考えていると、実習中の学生さんが来られました。学生さんはある体勢をとれば字が書けるということを知っていたのです。

そしてこう書かれたのです——

「みないない 今一人」。

病院のスタッフは周りにいる。家族も面会に来られる。しかしほんとうに寄り添ってくれる人は誰もいない。そういう孤独を抱えておられたのです。

私たちは誰にもかわってもらえないのちを生きており、かけがえないのちを生きています。だからこそひとり死んでいかなければならない孤独を抱えています。しかし、その孤独、根源的なさみしさに対して、脳梗塞による「感情失禁」のせいだとか、「失語」のせいだとか分析して、わかったつもりになっていたので

うことを妨げているのです。誰もが抱える孤独ということを、個人的な狭い問題に限定してしまうのです。そうやって私たちは、孤独なだけでなく「孤立」するということがあるのです。そして私がかんだ「さみしさ」をどうやって消すのか、ということにかかり果

て、薬を使ってみたり、レクリエーションで楽しませたりして、

なんとかこまかそうとしていきます。ほんとは、個人的な関心ではなく、人間としての悲しみを共に確かめる場所、人間同士が響き合うということがあるのではないのでしょうか。悲しみをまっすぐに

別院定例法座

午後1時から

3日 三目のご坊

7月 講師 **北條 秀樹氏**
(了泉寺住職)

講題 「聞きつづける訊」

8月 飛驒学場

28日 親鸞聖人ご命日法座

7月 講師 **畑 亮 徳氏**
(願徳寺住職)

講題 「本物の念仏・偽物の念仏」

8月 講師 **白尾 匡氏**
(長圓寺住職)

講題 「街道と真宗寺院」

ひだご坊

一口法話



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>

7月1日から8月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- ・北條 秀樹氏 (了泉寺住職)
- ・宮川 摩耶氏 (映芳寺衆徒)
- ・小原 正寛氏 (専念寺住職)
- ・三島 千裕氏 (真蓮寺坊守)

8月限定企画 **高山別院の大鐘を打ち鳴らそう!**

8月1日~31日 毎日夕方5時より

鐘をつきたい子は別院に来てね スタンプカードもあるよ!

大谷婦人会 定例法座

7月11日 (金)

講師 三島多聞 別院輪番

8月11日 (月)

講師 三島多聞 別院輪番

いずれも午後1時から

お墓のことお気軽にご相談ください お墓の「困った」を解決します

お墓の新設 | リフォーム | クリーニング | 墓じまい | 各種石工事

石のことなら **ご相談・お見積り無料!!**

株式会社 奥田石材

☎ 0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1

☎ 0577-32-1483 [事務所・展示場] 高山市国府町上広瀬137-1

リニューアルオープン記念! 「和ろうそく絵付け体験」

和ろうそくに絵を描きませんか?

日付 7/4(金)5(土)6(日)

時間 13:30~15:30 (約2時間)

参加費 無料

予約方法 お電話のみ

仏壇ミュージアム

6/6(金)オープンいたしました!

どなたさまでも、自由にご覧いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

一緒に、「おみがき」しませんか?

参加費 無料 **仏具磨き教室**

7/27(日)28(月)

午前・午後の部 各回3組

お電話でご予約ください

(有) 仏壇工芸 **ほりお**

高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

8.16(土) **ご坊 夏まつり**

17:00開宴

雨天決行

飛驒仏教青年会 夏まつり実行委員会

保険タイム

〒506-0059 高山市下林町916-1

※ひだしん西高校前支店となり

TEL 0577-35-1005

8月11日まで **お盆セール開催中**

念珠 30%引

プリザーブド仏花 30~10%引

INORI PLACE 工匠館

桐生町2-105

0577-35-3038

ブックス・アイオー

宗教関連書は二階売り場

ゆっくりお過ごしください。

TEL 0577-341766

慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社

自主出版 あなたの人生を一冊の本に

山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八

TEL 0577-351149

久寿玉 KUSUDAMA

平瀬酒造店

TEL 34-0010

あなたの本、作ります。

自分史作品集など

高山市桐生町7-150-3

有限会社リプロ

TEL 0577-35-0350

E-mail: info@libro-ops.net

お墓の **新設 修繕**

お盆前に、お墓の掃除や気になるところ相談受付中

高山墓石店

☎ 090-7677-4883

〒506-0814 高山市滝町1362

<https://www.takayamaboseki.com/>